



◆内科新診療科長に就任して 嶋田 顕

2017年8月1日付けで内科系診療センター内科の診療責任者を拝命した嶋田顕です。2014年3月の当院の開院オープニングスタッフとして、前任の内科診療責任者である笠間毅教授（現 江東豊洲病院病院長）のもと3年間、内科の診療部門の一翼である腫瘍内科部門の責任者、化学療法室の責任者として頑張ってきました。これからは内科全体の責任者としてさらに頑張る所存ですので、スタッフをはじめ多くの皆様方からのご指導ご鞭撻のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。



内科は3年前の開院時よりリウマチ・膠原病内科の笠間毅教授、呼吸器・アレルギー内科の岡田壮令准教授、腎臓内科の本田浩一准教授、糖尿病・代謝・内分泌内科の李相翔助教、腫瘍内科の私の5名の各部門責任者が協力して内科全体を運営してまいりました。この間多くの困難がありましたが各科の高い専門性の診療と、救急医療を含めた一般診療の充実、この両面の確立に貢献できたと思っており、これらは若い医師たちの努力と多くの医療スタッフの協力のもとで成し遂げられてきたと考えております。

日本を取り巻く医療事情は年々厳しさが増しており、急速な人口増加を示している豊洲地区であっても深川地区全体では少子高齢化が着実に進んでいます。

内科の今後の役割としては、更なる質の高い専門性と同様に救急医療を含めた一般診療の充実を図っていく事にあると思っています。その実現には、内科各科のメンバーとのコミュニケーションを図ることはもちろんですが、各診療センターの先生方、医療スタッフとのオープンなコミュニケーションを図り、安全で安心な医療を目指したいと考えています。当院の限られた病床数を有効に活用するため、地域医療機関の先生方と緊密な連携を図っていきたいと考えております。内科一同の代表として、今後とも何卒ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



昭和大学江東豊洲病院

第41号のトピックス

- 内科診療科長就任挨拶
- タイ留学報告 その2
- からだを動かそう その3
- 御神輿お出迎え
- 編集後記

◆タイ留学報告 その2 心臓血管外科 中村 裕昌

タイ胸部疾患センター（CCIT）での研修も1年と4ヶ月が過ぎ、残り8ヶ月となりました。今回はタイに来てから困ったことについて報告します。

1. 食 事 タイ料理は美味しいです。ただ香草（特にパクチー）が苦手なのでまだ苦労しています。トムヤムクンには慣れました。ソムタム（パパイヤのサラダ）は大好きです。
2. ビ ザ タイのビザは非常に複雑です。また必要と言われた書類を持参しても、審査官によって話が変わることもよくあります。初めての更新時には、書類の事などで計6回（家族分含めると計10回ほど）移民局に行くことになりました。
3. タクシー バンコク市内は英語がそれなりに通じますが、バンコクを離れると英語はあまり通じません。タクシーの運転手にGoogle マップやタイ語の地図で場所を示して「OK」と言われても反対方向に行ったり、車が壊れて途中で降ろされたりしたことなどありました。また、バンコク市内で渋滞に引っかかるととんでもない事になります。
4. ト イ レ タイのトイレは水流が弱いので基本的には紙は流せません。すぐに詰まります。また、BTS（電車）の駅にはトイレがありません。
5. 飲 み 物 基本的に、お茶には砂糖が入っています。例えば、緑茶のハチミツレモン味などです。コーヒーも、ブラックを頼んでもミルクなしで砂糖入りが出てくる時があります。また、ビールに氷を入れるのが一般的です。
6. 天 候 雨季になると道路が冠水します。しばしばこのため家に帰れなくなることがあります。
7. 病 気 インフルエンザは年中流行しています。この7月にも私を含め家族全員がかかりました。また子供は、腸炎にも数回かかりました。

他にも海外生活は大変なこともたくさんありますが、日本では経験できないこともたくさんあります。またそれは改めて。



中村医師による手術の様子



大雨で道路冠水

◆からだを動かそう その3

リハビリテーション室 青木 啓一郎

股関節・膝関節の痛みがある人にオススメの体操をご紹介します。

* やり方

- ・ 回数は10回1セットとして、2セット程度実施。
- ・ 必ず「ゆっくり上げて、ゆっくり下げる。」を心掛ける。反動を使わないようにする。

* 注意点

- ・ 急性期には行わない。
- ・ 痛みが増悪する場合は中止する。

① SLR 訓練



図のように足首に重りをつけて行っても良い。辛い場合は、重りを使用しないで実施。

② 股関節外転（臥床と立位を紹介）

臥位：側方傾斜

立位：体幹側屈

上記の代償動作に注意をしながら実施。



臥位：腰椎過伸展

立位：腰椎過伸展

上記の代償動作に注意をしながら実施。



③股関節伸展（臥床と立位を紹介）



*代償動作：「ある動作を別のかたちでカバーする動作」

次回も下半身の体操をご紹介します。

◆御神輿お出迎え

8月13日(日)水かけで有名な、江戸三大祭のひとつ富岡八幡宮例大祭が開催されました。

この祭りは、消防団による放水やバケツでの水かけが行われ、御神輿の担ぎ手は全身水をかぶりながら巡行します。

当院では、御神輿渡御の休憩所としてロータリーを提供し、御神輿を担がれる方々に冷たい飲み物と軽食を用意し、お出迎えしました。

出迎えた副院長および病院スタッフも御神輿を担ぎ、涼しげで盛り上がるお祭りとなりました。



編集後記 看護部 小笠原 京子

朝晩めっきり涼しくなってきました。読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋。皆さんはどの秋を堪能される予定ですか？

さて、今月号の病院だよりでは中村先生の「タイ留学報告」を楽しく拝見しました。

実は今年の7月に中村先生のご紹介でタイ胸部疾患センター（CCIT）の看護師30名の方が、当院に視察に見えました。私たちからは、日本のきめ細やかな医療・看護の実態や施設の特徴などをご紹介させていただきました。数時間の滞在でしたが、当院の職員とも良い交流が図れたと思います。今後も色々な方々の視察や見学などが受けられるような組織に成長していきたいと思います。

季節の変わり目、体調管理には十分気を付けてお過ごしください。



昭和大学
SHOWA UNIVERSITY

昭和大学江東豊洲病院 <http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/>

〒135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38

TEL03-6204-6000 (代表)

発行責任者：笠間 毅 編集責任者：長谷川 真



Showa University Koto Toyosu Hospital